

日本の NATO 事務所の報告に対し中国が反発

<https://www.rt.com/news/575784-nato-china-japan-asia/>

RT

May 4, 2023

アメリカ主導のブロックのアジアへの拡大は、平和と安定を覆すことになると、北京が警告。



ブリュッセルの司令部でひるがえる NATO の旗

中国外務省は、そのアジアの隣人に向けて、NATO がこの領域、すなわち日本の首都東京で、最初の友好国事務所を開こうと計画しているというメディアの情報に対し、「高度の警戒」をするよう呼びかけた。

外務省報道官の毛寧（Mao Ning）は、木曜日のブリーフィングで、この問題について質問され、このように答えた。

マオは警告して、「NATO が次々と東方に向けてアジア太平洋まで侵略し、地域的な問題に干渉するなら、それは確実にその地域の平和と安定を覆し、両陣営の敵対関係を煽ることになる」と言った。

「地域国家間での高度の警戒」が要求される、と彼女は言い、アメリカ主導の軍事ブロックが、アジアでのプレゼンスを獲得しようとしていることは明らかだ、と加えた。

水曜日、日経アジアは、日本と NATO 高官の双方を引用し、この米主導の連盟 NATO が、日本との同盟のオフィスを設けようと、日本と話し合っていると報じた。



参考文献：「NATO が日本にオフィスを開く構え——メディア」

<https://www.rt.com/news/575720-nato-japan-liaison-office/>

このメディアのソースによれば、NATO は東京にワンマン・ステーションを持つようとしており、日本とそのアジア太平洋同盟国——オーストラリア、ニュージーランド、韓国——と共に、定期的に協議することを望んでいる。

NATO が同盟のオフィスを設けるというアイデアは、最初、日本の首相岸田文雄と、NATO 長官の Jens Stoltenberg によって、去る 1 月、東京の会合で取り上げられた。日本はこれを、この国で開くために、このブロックの仕事を運営する資金集めに合意しなければならない、と日経アジアは加えた。

略称の NATO は「北大西洋条約機構」だが、このブロックは最近、それがインド-太平洋にも興味があることを公然と認めた。昨年 6 月、この領域からのブロックの同盟国が、歴史上初めて、NATO サミットに参加した。

NATO は、日本、オーストラリア、韓国、それにニュージーランドと「関係を強化しつつある」。その理由は、「今日の複雑な安全保障環境においては、地球全体を通じて、同じような精神をもつパートナーたちとの関係が、相互に交差する安全保障問題と、グローバルな難問に応えるために、ますます重要になっているからであり、ルールに基づいた国際的秩序を防衛する必要もあるのだ」と、このブロック代表は先月、声明で述べた。

関連文献：「西側は、2 次大戦の枢軸国式の同盟を結びつつある——プーチン」

<https://www.rt.com/russia/573619-west-building-axis-putin/>

自分たちの国境に向って拡張する NATO に対し、強く反対するロシアは、このブロックの、アジアに向かう活動の拡大の試みをも、同様に批判した。3 月に、ウラジミール・プーチン大統領は、「グローバル NATO」と言うべきものを創り出そうとする、アメリカとその同盟国の動きは、1930 年代に第 2 次大戦が起こる前の、ナチス・ドイツ、イタリア、それに日本の行動に似ていると言った。

[訳者はここで、RT のこの記事について述べられた、コメント欄の評言をいくつか紹介しようと思う。いずれも変名で、ランダムに選ばれたものである。]

- “NATO” と言うようなものは実は存在しない。現実にあるのはアメリカ軍の延長にすぎない。なぜなら強いアメリカは、自分たちに代わって死んでくれる、よその国を求めているだけだからである。
- これで、どうしてロシアが決して日本に、北方領土を占領させないかがわかる。なぜなら、もし日本が占領したら、NATO 海軍がやってきて、ロシアの海域のすぐ手前に基地を作ろうとするからだ。
- 日本人は宦官 (eunuchs) の集団である。彼らはアメリカに主権を売り渡してしまった——タマを持たないサムライたちだ。
- 日本の NATO オフィスのメニューにあるもの：——戦争、墮落、隠れた干渉、選挙介入、更なる戦争、世界の混乱、その他、書ききれない。これはほんの一部だ。
- ……日本は去勢され、ある暗い霊的/社会的な病弊によって、人口統計学的に消え去りつつある。

[訳者 Greatchain 注]

日本と NATO の癒着については「日本はますます NATO に深みにはまるか？」で言われていた。<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/230409.pdf> これがいよいよ真実であることがわかった。我々に伝わらない、我々自身の運命を左右するかもしれない問題を、中国を通じて知るということ自体、許せないことである。これは日本には自主・自律性が全くなく、完全に従僕国であることを、はっきりさせるものである。この者たちに合体して得られる利益は、確実に日本国民の損失となる。朱に交われば赤くなる、と言うが、指導者が、**明らかに悪である者たち**と交われば、国民は確実に墮落する。

引用したコメント欄のコメントを読んでいただきたい。世界の人々の目に映る我々日本人の姿は、予想した通りである。「情けない者たち」として映っている。ここに、日本人を去勢された者とする比喩が、2 か所にあり、「墮落」という言葉も使われている。

誰が見ても、これに異存はないであろう。我々タマを撃ったことがないから、タマは不要になったのか？ アメリカでは男のタマの廃止運動が起こっているから、やはりこれも彼らに追随すべきか？ 指導者の方々に訊いてみたい。